

第 1 回 行財政改革官民協働委員会議事概要

日 時	平成 2 4 年 8 月 2 1 日（火） 14：00～16：05
会 場	佐渡市役所 会議室棟 第 2 会議室
出席者	佐藤委員（委員長）、小田委員（副委員長）、萩野委員、山本委員、計良委員、伊豆野委員、高野委員、河原(代理)、笠井委員、清水委員、加藤委員、尾瀨委員
議 題	①本市行財政改革の概要について ②官民協働委員会の役割及びスケジュールについて ③その他
議事概要	<p>①本市行財政改革の概要について (資料 No.1、2)を事務局より資料に基づき説明。</p> <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民サービスを維持しながら人員削減は難しいと思うが、職員が強い気持ちをもって取り組む必要がある。(例えば民間だと目標を必ず数値化している) ・減らすことばかりではなく増やすことも検討が必要ではないか。 ・収入を増やす等の改善方法の検討はしているのか。(民間の場合、収益がなければ存続しない。目先の計画ではなく、中長期的な計画を立て数値実績を追いかける等の工夫を) ・民間の人が動きやすい住民サービスの仕組みづくりを。 ・住民サービスの分野では、正職員を配置しなくてもパートで対応できる業務があるのではないか。 ・税収入を上げる工夫や建物・土地の借地契約の見直しが必要。(契約時は長いスパンで考え見極める必要がある。) <p>②官民協働委員会の役割及びスケジュールについて (資料 No.3、4)を事務局より資料に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民協働委員会は、民間有識者の委員から行財政改革に企画段階から参画してもらい進捗管理まで協働で進めていきたい。 ・工程表の通り新年度予算への反映を考慮して、11 月中旬までに会議を 5 回開催予定。 ・行政事務改善委員会分科会で検討した具体的な素案について意見・提案をもらいたい。具体的な項目は、①地域を支える拠点としての出先のあり方、②市民満足度の高い行政サービスへの改善、③公共サービスの役割分担、④自主財源の確保と徹底した経常的経費の削減の 4 項目。

	<p>③その他</p> <p>(資料 No.5、6)を事務局より資料に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の会議では、地域を支える拠点としての出先のあり方と市民満足度の高い行政サービスへの改善について意見・提案をもらいたいと考えている。現在の行政組織・将来組織について検討中の組織機構図（案）を説明。 <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支所、サービスセンターの人員配置は、市民からの要望に応えられる体制づくりが必要である。地区の事情に詳しい人、地区の重要事業に対応できる人等の配置が必要である。（例えば、相川支所には世界遺産関係の業務経験者等。） <p>(資料 No.7)を事務局より資料に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、各集落等からの要望について実施方法が統一されていないことから、統一した仕組みづくりを提案したい。 <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧市町村単位で、集落からの要望に対する取扱いに違いがあることは問題であり、早急に統一する必要がある。
次回検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域を支える拠点としての出先のあり方及び地域要望システムについての意見・提案」を事前に行政改革課へ提出してもらい、次回委員会で取りまとめる予定。 ・ 次回は10月初旬開催予定。